

Bass, Bass, Bass,
Bass & Bass

Xavier Langue
Oliver Moret

Yves Torchinsky

Jean Philippe Viret

Etienne Roumelet

Christian Geartet

L'Orchestre de Geartet

AUTUMN
2007
Vol.26

文	化
の	家

この情報誌では文化の家が行う事業や文化の家で展開されるさまざまな活動を紹介するとともに町の芸術文化情報をお知らせします。

CONTENTS

○ 特集	2
2007年夏 おんぱく開催	
○ TOPICS	8
住民参加プログラム パイレーツ・オブ・花山田小学校	
○ INFORMATION	10



2007年

7月29日、文化の家が一日だけ音楽のテーマパークに生まれ変わりました。この日のために、構想3年、準備1年。

「地元アーティストによる、地域に住むみなさんのための、文化の家でしかできないイベント」をテーマに、参加者と計画を立ててきました。

【おんぱく】とは、「音のテーマパーク」、「音の博物館」、「音の博覧会（万博）」、「音パーク」、「わんぱく」などのイメージから名づけられ、キャラクターデザインは、子どもたちが「にぎやかで盛りだくさんの音をパクパク食べる」という元気さを表しています。

今回のテーマはラベル作曲の「ボレロ」。有名なリズムとメロディーが一つ一つの楽器にバトンタッチされながら、やがて楽器同士の音が重なり合っていきます。そして終盤に向けて大きなクライマックスを築いていく様子は、来館者、出演者、ボランティア、職員みんなが作り上げるという、「おんぱく」のコンセプトそのもので、これ以上ふさわしい曲はありませんでした。また、夏の真っ盛りにスペインの音楽が響くことから、テーマのサブタイトルは「情熱のボレロ」となりました。

この一日限りのイベントで、出演者の愛知室内オーケストラ（以下ACO）やサポート役のボランティアのみなさんは見事な連携を見せてくれました。ACOのみなさんは、町内にある愛知県立芸術大学の卒業生を中心に結成された若手音楽家集団で、半年間何度も打ち合わせを行い、「おんぱく」を創り上げました。彼らはこの長久手の地で学生時代を送り、その頃から文化の家のステージに立ち、愛着を感じてきていることから、このイベントへの意気込みはものすごく、惜しみない協力を得ることが出来ました。また、このイベントを支えてくれた「おんぱくスタッフ」の約50名のボランティアのみなさんも、受付や誘導といった基本的な業務だけではなく、ACOのメンバーへのサポートから共演までをこなし、「もう一人のアーティスト」となりました。

長久手こども音楽劇場

夏 おんぱく開催

～ 音のテーマパーク「情熱のボレロ」～

午前10時 いよいよ開演!



文化の家を東西に抜けるガレリアにファンファーレが高らかに響き渡りました。



開演に胸躍らせファンファーレを聴く来場者



パスポート

この日のイベントは、子どもたちに音楽やアーティストとできるだけ間近で体験し、触れてもらうことが大きな目的の一つでした。「音さがしの部屋」は各楽器の演奏家が、文化の家の様々なスペースで、楽器の話や演奏など、アーティスト自身のキャラクターを活かした、趣向を凝らした内容となりました。

また、もう一つの特徴として、聴くだけではないいろいろなアトラクション、「音あそびの部屋」がありました。楽器づくり、ダンスのワークショップ、フェイスペイント、楽器に詳しくなるスタンプラリーなど、自分でつくって、演じ、知ることによってイベントを楽しめるような要素を盛り込みました。

おんぱくのロゴ

「にぎやかで盛りだくさんの音をパクパク食べる」というわんぱくぶりを表しています。

◆音さがしのへや



◆弦楽器のへや

(展示室：ACO弦楽セクション)
楽器を間近に興味津々。実際に弦を弾いてみました。

◆木管楽器の部屋

(舞踊室：ACO木管セクション)

Q：ファゴットを体験してみようだった？

A：私はクラリネットをやっているんですが、音が低くてびっくりしました。クラリネットの音は「ブー」で、ファゴットは「ポー」という感じで、違いが分かって面白かったです。



◆サクスのへや



(講義室2：堀江裕介〈サクス〉)

5種類ものサクスが登場！クラシック以外にも大活躍のサクス。おにいさんに優しく教えてもらいました。

◆打楽器のへや

(光のホール：ACO打楽器セクション)



打楽器はたくさん種類があります。いろいろな楽器を叩いてみました。

◆金管楽器のへや

(風のホールホワイエ：ACO金管セクション)
ゴムホースにマウスピース(吹き口)を付けてみました。ホースの先のラップから音が出ました。



トランペットの大山さんのコメント

Q：部屋の様子はどうでしたか？

A：子どもたちは、僕が思っていた以上に興味を示してくれて、とても楽しいひと時を送ることができました。最初は音が出ないかなと心配していたんですが、割とみんな吹けて、とても良いワークショップになったと思います。



◆たっくんのゆかいなへや

(音楽室：菅原拓馬〈作曲原人〉)

音を出せばなんでも音楽になってしまう不思議な部屋。一日中楽しそうでした。

Q：きょうはどこかのへやを見た？

A：ほとんどのへや。

Q：どこかのへやが楽しかった？

A：たっくんのへやでフライパンやしゃもじを使っている面白い音を出すのが楽しかった。



◆マエストロのへや

(風のホール：山田和樹〈指揮〉+ACO弦楽セクション)



田中さん親子

父：普段自分はオーケストラで弾いている方なので、指揮を振ってみて面白かったです。

母：指揮者が面白い方で、すごく良い経験になりました。

子：楽しかった！

ぼく、喜びの歌（ベートーベン第9）がいい！

え？！（楽譜ないけど…）
やってみましょう！

マエストロのコメント

Q：マエストロの部屋はいかがですか？

A：みんな喜んでくれているようでよかったです。用意していない楽譜の曲までリクエストされて、オケのメンバーもびっくりしていましたが良くやってくれました。さすがプロですね。



◆音あそびのへや

◆昼休みのゲリラ演奏



小松大（フィドル）と山田陽介（ギター）によるアイリッシュ音楽

お昼休みのゲリラ演奏は、あっという間の人ばかり



クインテッド“Mens La”

◆スタンプラリー（館内8カ所）

文化の家を探検しながら楽器のことに詳しくなりました。



◆楽器をつくろう！

(美術室：文化の家創造スタッフ：澤村佳代子〈美術〉+横田真規子〈ヴァイオリン〉)

しゃもじやコップを使ってみんなで楽器をつくりました。



◆ボレロを踊ろう！

(森のホールホワイエ：文化の家創造スタッフ 安藤可織+山田陽介〈ギター〉)

みんなで一生懸命踊りを覚えました。演奏会のフィナーレでは立派に舞台上で踊ることが出来ました。



マツバラさんのコメント

Q：踊りのワークショップはどうだった？

A：普段はフラメンコを習っていますが、今日のボレロも同じぐらい楽しかった！



◆ぺったん★マイおんぶ♪

(北ガレリア：文化の家創造スタッフ岩野早苗〈美術〉ほか)



カラフルな紙を切ってオリジナルの音符をつくり、五線のボードに貼り付けました。

◆フェイスペイント

(アトリウム：愛知県立芸術大学デザイン専攻のみなさん)



このコーナーは開館と同時に一日中大にぎわいでした。

●弦楽器のへやから●



●木管楽器のへやから●



●楽器をつくるのへやから●



●たっくんのゆかいなへやから●



●マエストロのへやから●



◆一日の集大成 コンサートだ！



◆プログラム

- ・ビゼー：「アルルの女」第二組曲
- ・ロドリーゴ：アランフェス協奏曲
(ギター：山田陽介)
- ・サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン
(ヴァイオリン：平光真彌)
- ・ラヴェル：ボレロ (編曲：菅原拓馬)
- ・アンコール：みんなでボレロ

指揮：山田和樹

演奏：愛知室内オーケストラ



みんなあつまっ!



●サクソのへやから●



●金管楽器のへやから●



●打楽器のへやから●



この日、館内のあちこちで行われていたイベントで、一日中ポレロのリズムとメロディーを中心に演奏した、さまざまな楽器たちは、森のホールに集合しました。今日一日の集大成のコンサート。この日のコンサートはちょっと意味が違いました。各部屋で、工夫を凝らして楽しく分かりやすく教えた人や、そこで楽器に触れた人・作った人、踊りを踊った人たちが一斉にホールに集まり、演奏会が行われました。コンサートの最後には、「ポレロを踊ろう!」の子どもたちが踊りで共演しました。また、客席も手作り楽器や手拍子で参加。全員で「ポレロ」を創りました。



スタッフ全員の集合写真「楽しかった〜」

マエストロに一言

Q：今日一日を終えていかがでしたか？

A：今日の催しは、長久手でしかできない「オンリーワン」でした。まず、文化の家という会場や企画がすばらしい。スタンプラリー等もまったく四角ばった所では面白くないですからね。また、ボランティアの人がこれだけ集まるのもここだけでしょうし、ここまでやってくれるオケも愛知県では愛知室内オケだけでしょうし、いろいろなことの「オンリーワン」が重なって、すごく特別な一日になったのかなと思います。それが来てくれたみなさんに伝わってくれたら良かったなと。もちろん単純に良かったなと思ってくれればいいんですけど、さらにもう一歩踏み込んで、ここだけにしかない企画だったということが少しでも来場者のみなさんに伝わって来ていたら嬉しいです。

家族で来場して一日を過ごした広瀬さん一家の声

実際に演奏している人たちから、各教室でいろんなことを教えてもらいました。その人たちが後で舞台上で演奏しているのを見ると、ただ「コンサートを見に来た」と言うわけではなく、「ついさっきまで、いろいろと話をしてくれた人が舞台上に立っている」ことで、とても親近感が持てました。クラシックの堅苦しいイメージと違うフレンドリーなコンサートで良かったと思います。



TOPICS

パイレーツ 花山田小学校
THE PIRATES OF HANAYAMA ELEMENTARY SCHOOL

住民参加プログラム パイレーツ・オブ・花山田小学校 本番までの道のり



「パイレーツ・オブ・花山田小学校」は、昨年うりんこ劇場で初演された話題作です。今回は、財団法人地域創造から助成を受け、長久手町文化の家、可児市文化創造センター、豊橋市民文化会館の三館が連携し制作しました。この連携事業の特徴は、会館ごとに地元出演者を募集し、作・演出の佃彦氏が出演者の特徴を活かした脚本修正を加え、稽古をしていく住民参加型公演という点でした。

あらすじ

小学5年生の鈴木照子は冷めた都会っ子。父の出身校「花山田小学校」は怪しげなところ。給食のおばさんたちは、実は元海賊。生徒たちはこの海賊たちに変なものを盗まれていた。バスケット部のキャプテン翔太は「やる気」、バスケット部員の卓司は「休日」、洋二郎は（翔太の祖父なのだが）「卒業式」を奪われて今も6年生。顧問の水谷先生は「婚期」を盗まれたらしい。

その怪しげな花山田小学校に照子が連れてこられてしまう。今夜は月のない新月。海賊たちが復活する夜だ。こうして照子を中心に子どもたちと海賊の戦いは幕を落とされた。謎の海賊ハンターは？父の正体は？謎が謎を呼ぶ…。

最期に明かされる花山田小学校の真実とは？

●稽古初日（7月24日）

・10代から50代までの個性的で意欲あふれる10人の出演者が、稽古初日を迎えました。初日ということで、メンバー同士初顔合わせ、緊張の面持ちでしたが、初めて台本を手にした長久手公演メンバーは、全員とても輝いて見えました。



作・演出の佃さんから「あなたが海賊に奪われたくないものは？」という問いかけに、「彼氏の愛」、「活字」などの回答があり、だんだん和やかな雰囲気になりました。

参加者の声

- ・台本を手にして、わくわくしました。緊張してうまく自己紹介できなかったので、次回はもっとはっきりしゃべろうと思います。みなさんともっと仲良くなりたいです。早く次の稽古日になってほしいです。
- ・とても不安でしたが、他の出演者のみなさんや佃さん、文化の家の方も楽しくて、すごくあっという間の3時間でした。「お芝居を作る」ということをしていくんだと感じました。次回からの練習がとても楽しみです。

●稽古2日目（7月27日）

・本格的な稽古。劇団うりんこの照子役の平山さんや洋二郎役の成瀬さんなどの主要キャストとともに熱い一日が始まりました。まずは、準備体操をして、発声とテーマソングの練習。「あ・ら・し・

とともにやってーえーきたー！」。元気あふれる曲が舞台を包み、まるで海賊船に乗船したような気分。10人の出演者の役割が決まり、ひとつのシーンが何度も繰り返され、出演者の動きが洗練されていく。佃さんの指示が次々と飛びかい、動きの激しい稽古（殺陣）が続きますが、出演者は疲れも見せずすごく楽しそう。そして、3時間近い稽古が、あっという間に終了時間。とても充実した様子の出演者のみなさんでした。



参加者の声

・今日は殺陣（タテ）ということで、楽しみでもあり不安でしたが、とても楽しくやらせていただきました。うりんこの方々と一緒に演技できることが本当に感激でした。帰ってから、タテの復習します。
・今日は、初めて舞台の上で動いた。とっても楽しかった！ここしばらく味わったことのない感動でした。

稽古3日目（8月1日）

・19日の本公演と同じ森のホールでの稽古で、自然と気分が高まりました。準備体操のあと、佃さんが10人の出演者それぞれの個性に合わせて、オリジナルのセリフと演技指導をつけていきました。出演者の個性を活かしたセリフが見事にはまり、セリフが与えられるたびに笑いが起きた。長久手公演の出演者たちが、海賊に盗まれたものとは？最初は照れていた出演者たちが、しだいに役者の表情に変わっていきます。出演者たちは海賊に盗まれた大切なものを取り戻せるのでしょうか？



参加者の声

・セリフを覚え、ダンスをしました。覚えることがいっぱいパンクしてしまいそうです。
・今日もとても楽しかったです。ひとりひとりの個性にあわせて演出・セリフ等をつけて頂いて感動でした。楽しい公演になりそうです。

稽古4日目（8月4日）

・前回同様、佃さんの指導のもと、繰り返し繰り返し稽古を重ねました。
稽古⇒手直し⇒稽古⇒手直し
頑張り長久手出演者のみんな!!
本番まであと・・・16日



稽古5日目（8月8日）

・「嵐とともにやって～えきた～あ」
舞台の上での立ち振る舞いも本当にかっこよくなりました。これで衣装を身にまよえば、雰囲気たっぷりの海賊たち！本番がますます楽しみ!! 出演者のみなさんは、斬られ役。迫力満点のアクションできっと本番は会場を沸かしてくれるでしょう！
本番まであと・・・12日



稽古6日目（8月15日）

・採用時の自己申告サイズに基づく衣装が出来上がってきました。劇団うりんこさんで製作された衣装はとても質感が高く、自然と気分が高まります。公募出演者もうりんこ劇団員同様、スタイル維持が求められますが、いよいよ衣装に袖を通しての初稽古。みなさんとても似合っていました。
本番まであと・・・5日 ここからは毎日練習の繰り返しで体力勝負。はたして…



参加者の声

・今日は、初めて衣装を着て、いよいよだなーって思った。ハア緊張する。ニコニコせず、険しい表情を出せるように頑張ります。
・いよいよ今日から毎日稽古。本番に向かってLet's go!

本番（8月19日）

・本番当日、森のホールには大人から子どもまで多くの来場者がつめかけました。その中には、劇団うりんこのファンはもちろん、今回公募で参加することとなった10人のメンバーの友人や家族も、期待に夢を膨らませ応援に駆けつけたことと思います。そして彼らはその期待をまったく裏切ることなく、7月24日以来の日ごとの練習の成果を十分に出し切り、見事に自分たちにしか出来ない「パイレーツ・オブ・花山田小学校」を演じ切りました。



参加者の声

・僕にとって「パイレーツ・オブ・花山田小学校」の出演はとても勉強になり何より楽しめたことが良かったです。
出演者の人に親切に接していただき、特にうりんこの人たちは、どんな質問にもきちんと耳を傾けてくださり、気持ちよく練習できました。本当にありがとうございました。
・出番を待つ緊張感の中、子供たちの楽しそうな声が舞台裏まで聞こえてきた。



・きっかけは一枚のチラシからだった。あらすじを読んで虜になった。やってみたくてすごく思った。舞台を創る人達と同じ空気を味わってみたいと思った。

・振り返れば、本番と同じ舞台でお稽古をし、劇団うりんこの役者さんが毎回練習に立ち会って下さり衣装や道具もご用意いただき、演出の佃さん、殺陣師の杉本さんは、素人相手に根気よく丁寧にご指導頂き、長久手町文化の家のたくさんのスタッフに支えられ恵まれた環境で、この経験をさせて頂けたことに感謝の気持ちでいっぱいです。そして長久手キャストのみなさんと出会えてよかった。

提携事業

南河内万歳一座 「大胸騒ぎ」

大阪小劇場界きってのパワフル劇団の10年ぶりの愛知本公演です。

- 【と き】 平成19年11月24日(土)
午後2時から
- 【ところ】 風のホール
- 【入場料】 全自由席
前売 一般:3,000円
 フレンズ:2,800円
当日 一般・フレンズ:3,500円
 学 生:2,800円



学割は劇団のみ取扱 [劇団HP http://www.banzai1za.jp](http://www.banzai1za.jp)

提携事業

愛知県立芸術大学大学院オペラ 「ドン・ジョヴァンニ」(原語/字幕付き)

毎年恒例のオペラ公演。今回は初めての原語上演(字幕付き)で本格的なオペラの舞台をお楽しみください。

- 【と き】 平成19年12月8日(土)
午後5時から
 9日(日)
 午後2時から
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 全指定席 A席:2,000円
 B席:1,000円



昨年の公演より

※未就学児入場不可

提携事業 No.33

劇団銅鑼「流星ワゴン」

重松清の名作を磯村純(青年座:長久手町出身)でお贈りします。

- 【と き】 平成19年12月12日(水)
午後7時から
 13日(木)
 午後2時から
- 【ところ】 風のホール
- 【入場料】 全指定席
前売 一般:3,500円、フレンズ:3,200円
 高校生以下:2,000円
当日 前売+500円



あなたに贈る☆X'MAS BOX(クリスマスボックス)

- 【出 演】 モロ師岡(一人芝居)
少年ボーイズ(ショートコント)
雷門獅籠(落語)
雷門福三(落語) ほか

- 【と き】 平成19年12月22日(土)
午後5時から
 23日(日)
 午後2時から

- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 全自由席
前売 一般:2,000円
 フレンズ:1,800円
 学 生:1,500円
当日 一般:2,300円
 フレンズ:2,300円



古典芸能連続公演 初笑いながくて寄席

その一

- 【出 演】 三遊亭楽太郎 柳家喬太郎 伝の会 ほか
- 【と き】 平成20年2月10日(日)
午後2時から

- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 全指定席
前売 一般:3,000円
 フレンズ:2,500円
当日 3,500円



三代目神田山陽 独演会百連発「蚊帳の中」

その二

- 【出 演】 三代目神田山陽
- 【と き】 平成20年2月11日(月・祝)
午後3時から

- 【ところ】 森のホール
- 【内 容】 特設の巨大な蚊帳の中で、
座布団に座って聴く講談です。

- 【入場料】 全指定席
前売 一般:3,000円
 フレンズ:2,500円
当日 3,500円



名演への招待シリーズVol.7

J.S.バッハ ヨハネ受難曲 BWV.245 オランダ・バッハ協会

85年の歴史を誇る名門の初来日で、いま望みうる理想のバッハ歌手陣が一同に会します。一生に一度は、本物の演奏を。名曲中の名曲をお贈りします。

- 【と き】 平成20年2月24日(日) 午後4時から
- 【ところ】 森のホール
- 【入場料】 前売 一般:6,000円 フレンズ:5,000円 学 生:3,000円
当日 一般・フレンズ:6,500円 学 生:3,500円
(全指定席) ※未就学児の入場不可



◆チケット購入方法◆

- 文化の家チケット専用電話
- 長久手町サービスコーナー(Nピア)(アビタ長久手店2階)
- チケットぴあ

公演チケットは、文化の家、アビタ長久手店2階長久手町サービスコーナー(Nピア)、チケットぴあでお買い求めいただけます。

- 0561-61-2888
0561-63-9200
0570-02-9999

- ※前売り完売の場合、当日券は販売いたしません。
- ※フレンズ価格での販売は前売りのみです。
- ※出演者などは都合により変更になる場合があります。
- ※未定部分につきましては、広報長久手または各事業のチラシにてご確認ください。

第9回 長久手町文化の家フェスティバル

「文フェス」は長久手町文化の家のお祭りです。日ごろ、ここで活動しているいろいろな団体が集まって様々な発表やイベントを行います。何かやってみたいけど、何があるのか分からない人は、ぜひこの機会に、いろいろと会場を回って活動の場を探しませんか？

展示部門

- と き／11月14日(水)から18日(日) 午前10時から午後6時まで
- ところ／展示室(最終日は午後5時まで)
- 内 容／絵画、染色などの展示

舞台部門

- と き／11月17日(土)・18日(日) 午後1時30分から
- ところ／森・風のホール
- 内 容／室内楽、舞踊、歌、ダンス、バレエなど

パフォーマンス部門

- と き／11月17日(土) 午前11時30分から午後2時30分まで
- ところ／食文化室
- 内 容／穀物菜食の試食

第5回 長久手町文化の家バンドフェスティバル

年々参加バンドが増えてレベルアップしている、文化の家音楽スタジオを利用している17バンドが集結。日ごろの練習成果を発揮するとともに、お互いを刺激しあいます。ぜひ見に来てください。



- と き／12月1日(土) 正午から 2日(日) 午後1時から
- ところ／風のホール

第4回 吹奏楽フェスティバル in Nagakute

こちらも、4回目と定着しつつあります。今年も個々のバンドの練習の成果と、大迫力の合同演奏をお楽しみください。

- と き／平成20年1月27日(日) 午後1時から
- ところ／森のホール

平成19年度フレンズ会員募集

平成19年度文化の家フレンズの会員を下記のとおり募集しています。

●会費●

個人会員	年額1,500円 (ただし、10月1日以降に入金の場合は1,000円)
家族会員 (個人会員と住所を同じくする人)	年額1,000円 (ただし、機関紙・事業案内などの郵送は省略させていただきます)
法人・グループ会員	年額15,000円 (ただし、10月1日以降に入金の場合は10,000円)
※会員の有効期限は、4月1日から翌年の3月31日までです	
※年度の途中で入金する場合は、入会日から最初に訪れる3月31日までになります	

●特典●

1	文化の家自主事業チケットの割引 (10%程度割引、会員1人につきチケット2枚まで、法人・グループ会員は20枚まで)
2	文化の家自主事業公演チケットの先行発売
3	機関紙、情報誌、事業案内などの刊行物郵送
4	フレンズが行う文化事業、交流事業への参加

【申込方法】文化の家事務室にて、所定の用紙に住所、氏名、電話番号を記入の上、年会費を添えてお申し込みください。

編集後記



特集の「おんぱく」は、森のホールの扉を開いて文化の家の施設全体に拡がり繋がっていく、という企画でした。他のホールやアトリビングの各室、さらに通路やロビー、ホワイエ(ホール前室)などフリースペースも存分に活用しました。スタンプラリーやフェイスペインティングなども組み込まれていましたが、「マエストロの部屋」に象徴されるように、オーケストラがホールの重い扉を開けて外へ飛び出し、館内のいたる所が音や人の動きで賑わい、祭りのような一日となりました。

日ごろは閉じられた使い方をするホールが、自ら扉を開いてフリーなスペースに出ていく、という点では最近積極的に展開している「ギャラリー(ロビー)コン

サート」、ホワイエでの「アフタートーク」や館外に赴き出張演奏を行う「アウトリーチ」なども同じかも知れません。取り澄ましたように見られがちなホール事業を、そして施設自体をより身近なものにしていたために、こうした取り組みは有益で、事実いつも予想以上に大勢の観客を迎えるようになりました。

本号が出る11月上旬には美術系の事業ですが、文化の家自体の門を開けて街中へと拡がっていく「ながくてアートフェスティバル」が開かれていることでしょう。町内に点在する作家のアトリエや画廊、また岩作の旧商店街などにもアートの風が少しでも吹き渡ってくればと願っています。

文化の家館長 川上 實

事業のご案内

11月

11日(日)

長久手オペラVol. 17 「ほほえみの国」
午後3時から ■森のホール

14日(水)～18日(日)

第9回長久手町文化の家フェスティバル

○展示部門 14日(水)～18日(日)

○舞台部門 17日(土) 午後1時から ■風のホール
18日(日) 午後1時から ■森のホール

24日(土)

提携事業

南河内万歳一座 「大胸騒ぎ」
午後2時から ■風のホール

25日(日)

提携事業

長久手フィルハーモニー管弦楽団 第3回ファミリーコンサート
午後2時30分から ■森のホール

12月

1日(土)・2日(日)

第5回文化の家バンドフェスティバル

1日(土) 正午から

2日(日) 午後1時から ■風のホール

8日(土)・9日(日)

提携事業

愛知県立芸術大学大学院オペラ公演 「ドン・ジョヴァンニ」

8日(土) 午後5時から

9日(日) 午後2時から ■森のホール

12日(水)・13日(木)

劇団 銅鑼公演NO. 33 「流星ワゴン」

12日(水) 午後7時から

13日(木) 午後2時から ■風のホール

21日(金)

劇団ブーク 「くるみ割り人形」 「手袋を買いに」

午後3時から ■風のホール

22日(土)・23日(日)

モロさんのX'MAS BOX(クリスマスボックス)

～モロ師岡と仲間たちの飛び出す笑ライブ～

22日(土) 午後5時から

23日(日) 午後2時から ■森のホール

1月

27日(日)

第4回吹奏楽フェスティバル in Nagakute
午後1時から ■森のホール

2月

2日(土)・3日(日)

劇王V

2日(土) Aプログラム 午後2時から

Bプログラム 午後6時30分から

3日(日) 決勝巴戦 午後2時30分から ■風のホール

10日(日)

初笑いながくて寄席

三遊亭楽太郎 林家喬太郎

午後2時から ■森のホール

11日(月)

三代目神田山陽 独演会百連発「蚊帳の中」

午後3時から ■森のホール

17日(日)

ニューセンチュリーコーラスNagakute第10回定期演奏会

午後2時から ■森のホール

24日(日)

名演への招待シリーズvol.7

ヨハネ受難曲～オランダ・バッハ協会

午後4時から ■森のホール

3月

1日(土)・2日(日)

座★NAGAKUTE公演

1日(土) 開演時間 未定

2日(日) ■森のホール

9日(日)

提携事業

愛知室内オーケストラ スプリングコンサート

時間未定 ■森のホール

長久手町文化の家

〒480-1131

愛知県愛知郡長久手町大字長湫字野田農94番地1

tel.0561-61-3411 fax.0561-61-2510 http://www.bunka.nagakute.aichi.jp

交通アクセス

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、「リニモ」はなみずき通駅下車、徒歩7分
- 地下鉄東山線藤が丘駅から車で5分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、名鉄バス5番乗り場、長久手郵便局下車、徒歩8分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、N-バス [Cルート]長久手郵便局下車、徒歩8分 [Fルート]文化の家下車すぐ
- 名鉄バスセンターから名鉄バス、長久手車庫行き、西島下車徒歩5分
- 東名高速道路名古屋インターから車で10分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



長久手町文化の家
NAGAKUTE Cultural Center



東名高速道路の案内表示に従って、
大豆インクを使用しています